

矢板高校



観光施設における花苗植栽活動

矢板高校では、地域との連携を重視した教育として、那須高原りんどう湖ファミリー牧場で花苗の植栽活動（環境美化活動）を行っています。同ファミリー牧場に就職した卒業生からの提案で実現した活動です。当日は、農業経営科の2・3年生（21名）が、自ら栽培した花苗約3,500株（サルビア・マリーゴールド・ペゴニア等）をメイン花壇（時計台前）に植栽しました。植栽レイアウトは3年生が「虹と花」をモチーフに考案しました。



栃木農業高校



【アグリフェスタ2023】 出展

栃木農業高校 植物化学科の3年生8名が、自分達で栽培した農産物をPRしようと「とちぎアグリフェスタ2023」（栃木市総合運動公園中央広場）に出店しました。PR商品は、もち絹香（もち麦）・いちご・ブロッコリーで、当日は、多くの来場者に宣伝活動を行い出店ブースは大盛況を収めていました。参加した生徒からは、「自分たちが生産した農産物が売れる喜びを感じた」、「今日の経験を将来に活かしたい」などの感想がありました。



小山北桜高校



【水稻「愛国三号」】稲刈り

小山北桜高校において、日本酒の醸造を目的に生徒達が栽培した水稻（品種：愛国三号、作付面積：約30a）の稲刈りが行われました。当日は、食料環境科の2年生16名が参加して手刈りやコンバインにより収穫しました。収穫した米は地元酒造会社で試験醸造を予定しています。生徒達からは「手刈りは初めて体験した。思った以上に力が必要な作業で、鎌を入れた時の“ザクッ”とした感触が心地良かった」、「二十歳になった時には皆で集まり、この米で造った日本酒を飲んでみたい」などの感想がありました。

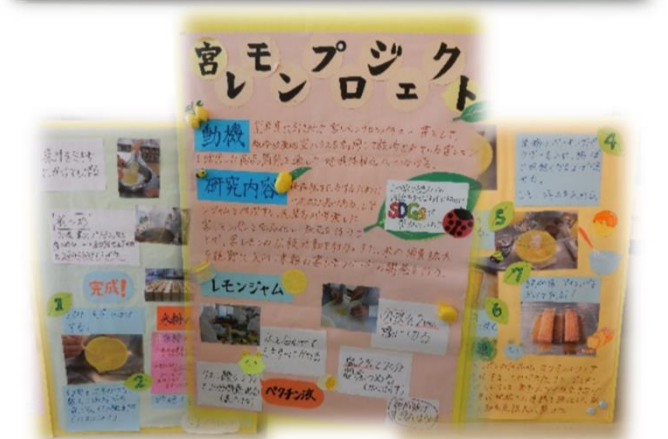


宇都宮白楊高校



宮れもんパウンドケーキ試食会

栃木県内米粉食品の展示・試食会が行われ、栃木県立宇都宮白楊高校の「宮れもんパウンドケーキ」が出展されました。当日は、食品科学科の生徒6名が参加してレシピや製品の特長などの説明がありました。試食した方達からは、その美味しさと技術の高さに驚きの声が上がっていました。

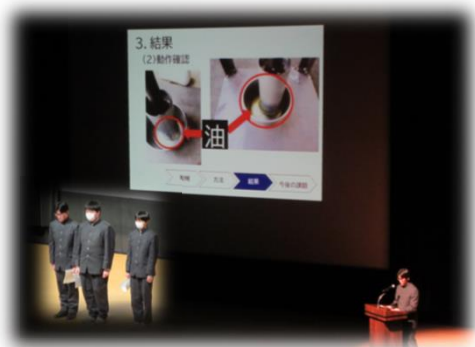


真岡北陵高校



芳賀地区専門学科生徒研究発表会

地域産業界の協力のもと、産・学連携の向上と生徒の研究意欲の醸成を目的に、真岡市いちごホールにおいて「芳賀地区専門学科生徒研究発表会」が開催されました。当発表会では、真岡北陵高校と真岡工業高校の各科の研究成果について発表がなされ、農業学科においては、生物生産科（8名）・農業機械科（7名）・食品科学科（5名）が、「花き産業発展に向けた取組」や「課題研究授業で制作した農業用機械」、「地場農産物の活用と地産地消の推奨に係る商品開発と地域連携活動」などについて発表がなされました。この発表会は芳賀地区内の中・高連携も兼ねており、多くの中学生が傍聴し、先輩たちの取り組みについて耳を傾けていました。



関東農政局栃木県拠点の取材日誌

馬頭高校

普通科選択科目「農業と環境」授業



6月19日

「露地野菜で町おこし」をテーマに、「農業と環境」を選択している2年生11名が、自ら栽培した超大球キャベツの収穫と給食センターへの贈呈式を行いました。贈呈された超大球キャベツは、やきそばとチョレギ風サラダの食材として調理され、町内小・中学校の給食で提供されました。



6月30日

「異世代間地域交流で町おこし」をテーマに、「農業と環境」を選択している3年生と2年生27名が、地域の園児達を招いて自ら栽培したジャガイモの収穫体験交流を行いました。園児と生徒がペアとなり、生徒が優しくサポートしてジャガイモを収穫していました。



9月22日

スマート農業を体験してその効果を検証しようと、アシストスーツ装着体験実習が行われました。当日は、「農業と環境」を選択している生徒13名（3年生6名、2年生7名）が参加し、アシストスーツの活用やその効果を学習し、実際に装着してその効果を実体験しました。体験した生徒からは「膝の負担が軽くなる。農業以外でも活用できると思う」「思った以上に荷物が軽く感じるので、高齢者や女性にとってはとても良いと思う」との感想がありました。